事務事業マネジメントシート

	平风	23	年月	支 争 亿	发評価•决昇			務事果マイン	メントシー		•				_		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
	事務		h *1	2080	文書館活動費						課		上涯学習記				
=	事業名]-	۱ *2					Г	〕主要事業		属班 話番号		上会教育!				
	基	本方:	針	4	□ 土安争身 心豊かな人と文化を育むまちづくり						^{語番号} 予算	62-6581 内線 10 会計			款	項	
政:		施策	-	7	芸術文化の振興・伝統文化	ŁO,	(保	存			4目		一般会計		10	04	06
体	系 施第				地域固有の歴史、史跡や化		民	俗芸能等の保存継承			视		 				
Ļ		本事:			歴史関係資料の保護・保存	子				汪	5 令	旭市文書	書館設置	条例施行	規則		
	現状报)事業権		Do))													
	事業期				② 事業の内容 ※何をど	ກູ	ようし	こする事業なのか、市民	民が理解できる	るよ	う記述	⋭する、行	下政用語 は	は使わなし	,١		
	,,, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	- 40 >-			旭市の貴重な文化遺産で		- ,				• / —						
					般への閲覧を行っと共に、 深めてもらう。	叶う	#究成果を「旭の風土と文化」として冊子に整埋して					関係機関に配布し、旭の風土・文化について理解を					
□ 開始年度不詳																	
□ 期間限定複数年度 平成 — 年度~ 【業務の流れ】 平成 — 年度まで ・支出伝票起票(労災等保					【業務の添わ】												
						険:	(料・臨時雇賃金(毎月)・消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・事務機器賃借									金)	
	※全	体像	を記	述⇒	・「旭の風土と文化」(150部	邪)	の目	7刷製本の見積り合せ									
	<u>)トータ</u>			建口	佐\						単位		22年度				
	事業費 災保険				<i>寺)</i> 金・消耗品費・印刷製本費・	通	信道	€搬費•	」国庫支出会		千円	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	(計画)
	務機器							= //	都道府県支出	金	千円						
									地方債 その他		千円		 				
								費割	R その他 一般財源		十円	1,194	1,213	1,204	1,249		
\sim	延べ業								事業費計(A	.)	千円	1,194	1,213	1,204	1,249		
	非常勤の文書館嘱託職員(1人/週3日勤務/1日					時	間分		E規職員従事人 延べ業務時間		人 時間		 				
担。	っている	್							人件費計(B		千円	0	0	0	0		
									タルコスト(A)+(千円	1,194	1,213	1,204	1,249	0	0
(3)事務	事業(<u>の手</u>	段	目的・上位目的及び対応す	る	指標	[
	① 主な	よ活重	t)			₽	5	活動指標名		_	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)		24年度(計画)		26年度 (計画)
ŀ	23年度	実績	(23	年度	 に行った主な活動)	ľ				1	里世	(沃 昇)	() () ()	()大异/		(計画)	(計画)
	・旭市の風土・文化・歴史を紹介した冊子「旭の 風土と文化」を作成し関係機関に配布した。						ア	「旭の風土と文化」印刷	月(150部)		円	72,450	129,150	116,550	130,000		/
																/ ,	/
段							1	歴史文書配布			口	40	40	35	40		/
	24年度	計画	i (24	年度	に計画している主な活動)											<u>/</u> ,	<u>/</u>
	•23年月	せとに	可じ計	計 画。			ゥ	歴史講座等講師派遣			口	27	29	12	16	/	/
								是人時 <u></u> 子時 所	但			21	23	12	10		
П	<u> </u>	3 /€#	/=T	t. 54	色にしているのか)	Ь	©	计 年 1				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
L	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 市民及び旭市の風土・文化・歴史に興味ある人 (市外)				_ ′	6	対象指標名		_[単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	(計画)	
						ア	旭市人口(4/1現在)			人	70,138	69,749	69,223	69,197			
									†						/ //		
目						١.						01年度	22年度	02年度	0.4年度	25年度	26年度
的	③ 意图	図(対	象カ	きどの	ような状態になるのか)	Þ	7	成果指標名(考え方)		Γ	単位		(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	(計画)
	旭市の風土・文化について理解を深め、ふるさ					1		歴史講座受講者数									
	とへの愛郷の意識が高まる。						ア	(,)	人	1,098	1,024	891	1,053	/	/
								上段:調査依頼件数			<i>t-</i> 1					 /	
							イ	下段:文書閲覧人数			件 人	32 2	12 4	13 10	20 10	/	/
								()	<u></u>) 05 # #	06/5/5
	④ さら	15.	どん	な上化	位目的に結び付けるのか	Þ	8	上位成果指標名(考え	方)	Г	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	(決算)	24年度 (計画)	25年度(計画)	26年度 (計画)
					ふるさと文化に誇りと愛着	1				T		(7)	(1) (3)	(7)	(III II)	(HI L)	
	を持て	るよう	にた	こる。			ア	(,	\							/
目的																Ł	<i></i>
цIJ							1										/
								(,)							
(4)事務事業の環境変化、住民意見等																	
1	開始し	たき	っか	けは	ーーーーー 何か?どんな経緯で始			務事業を取り巻く状況					事務事業				
_	うったか							â等)はどう変化している いは5年前と比べてど					、利害関れている		いりとんり	は思見や	安望か
					書が時代の変化とともに散		・特に変化なし。				寄せられているか? ・旭市の発展に伴い、ふるさとの風土・文化に対する						
失していくのを憂い、旭市史編纂のために収集し た貴重な各種史料保存のために昭和53年に設置 関心が高まり、伝統文化の保護についての意い。										気見が多							
	貴重な? ιた。	合種!	史科	保仔	のにめに昭和53年に設置	1						い。 ・大災害	等が発生	すると温	去の事例	について	の問い
C.4	J, C0					1					・大災害等が発生すると過去の事例についての問い 合わせが多くなる。(東日本大震災後、過去の津波・						
L						L						地震等の	つ問い合ね	つせが多れ	かった。)		

	事務事業名 文書館活動費		課名	生涯学習課	班名	社会教育班					
2	評価(Check1)担当者による事後										
В	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に びつくか?意図することが上位目的に結 ついているか?		ド旭市を愛	し、ふるさと文化に	こ誇りと愛え	着を持てるように					
的妥当性評	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定 拡充すべきか?	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 □ 適切である ⇒【理由】 □ ・より多くの人に旭市の風土・文化・歴史に興味を持ってもらうことが大事なので、限定はできない。									
	3 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければなられ のか?税金を投入して実施すべきか?	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 □ ☑ 妥当である ⇒【理由】 □ ・行政として、市民の歴史文書の保存及び行政の歴史的変ない事業であるため。	遷につい	て史料の収集・整	理・保存に	は、欠くことのでき					
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか? 隣市や類似団体と比較してどうか?	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → □ 妥当である ⇒【理由】 → □ ・非常勤の嘱託職員が業務を担っているので妥当である。									
效性	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか 事務事業を取り巻く環境変化等を考慮す とどうか?	□ 活動量を増やせば成果は向上する□ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は? ☑ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上がる・成果の向上を期待する事業ではないと思う。			⇒【理由 ⇒【理由 ⇒【理由] ₹					
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の	図 連携ができる ⇒【理由】 → □ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 → □ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 → ・ 大原幽学記念館活動費や飯岡歴史民族資料館活動費との	の統廃合々	や連携。)					
	カ、アウトソーシングなど)	7.)、必要最份	低限の事業費でお	あるため。						
	, (©) 人件复切削減赤地 「(主面k—カルコスkの k 供弗部公)		正規職員	にかかる業務はな	:\ \ _°						
評	受益機会・費用負担の 適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏ってい 不公平ではないか?受益者負担が公平 公正になっているか?		用できるの)で、公平・公正で	ぶ ある。						
	② 有効性 □ 適切 ☑ 見 ③ 効率性 ☑ 適切 □ 見	価結果と総括(2)全体総括(振り返り、反省点)直し余地あり直し余地あり直し余地あり直し余地あり直し余地あり直し余地あり	大いに役ュ	立っているが、市員	民への周矢	ロ不足により利用					
] 目的再設定] 事業のやり方改善による成果向上] 事業のやり方改善による事業費削:] 受益機会の適正化] 廃止・休止 2)改革改善家について ※い	J) ※2~3年後を目処にした方向性 □ 行政関与の見直し ☑ 事業統廃合・連携(関連事業:大原幽学記念館活動費・飯岡歴史民族) 或 □ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 □ 費用負担の適正化 □ 費用負担の適正化	資料館活動費) (廃山	・休止の場	よる期待成果合は記入不要)					
(1) (2) (3) (4))先ずは、市民に文書館がどういう施設))))	及なのかを知ってもらうため文書館のPR等を行う。 べき課題(壁)とその解決策 規職員を配属する必要があるが、人件費が増加するので難しい			低下						
(1) (2) (3) (4)		^{祝臧貝} を配偶する必安かめるか、人件費か増加するので難しい	١.								